

平成28年度 全国学力・学習状況等調査

～町立小・中学校の結果の概要～

この調査の目的は、全国小学6年生、中学3年生の児童生徒の学力・学習状況等を把握し、課題の検証を通して改善に生かすためのものです。

1. 調査結果の取り扱いについて

- (1) この調査は、序列化や競争を目的とするものではありません。
- (2) この調査で測定できる学力は、特定の一部分であり、学校の教育活動の一側面です。

2. 小・中学校の調査結果の概要

平成28年度全国学力状況調査小学校正答率(%)

【学力に関して】

(1) 小学校

傾向は、府・全国と同様に国語・算数のB(習得した知識・技能を活用する問題)に課題が見られました。国語A(主に知識・技能を問う問題)でも課題が見られます。

教科別では、算数Aでは、ややよい結果となっています。しかし国語Bの、グラフを基に分かったことや、自分の考えを書く問題や、算数Bの、示された説明を解釈し、用いられた考えを別の場面に適応して、その説明を記述する問題で特に正答率が低くなっています。

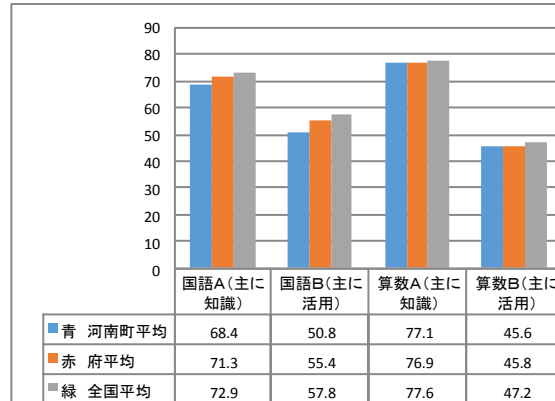
(2) 中学校

町内では1校ですので平均正答率の数値は公表しません。

結果概要については、国語Aにおいて全国平均をわずかに下回る結果となりましたが、国語B、数学A・Bは府・全国平均を上回りました。

課題のある部分を詳細に見ていくと、国語Aにおいて互いの発言を検討して自分の考えを広げる問題で正答率が低くなっていました。

※小学校では、どの教科も無回答率が府・全国平均よりも上回りました。中学校はどの教科も無回答率が府・全国の平均よりも下回りました。中学校の、深い思考が求められる問題等にも前向きに取り組む姿勢を、今後小学校でも浸透させることが課題です。



【学習状況に関して】

児童・生徒アンケートの結果は府・全国全体概要とほぼ同様の傾向でした。以下に挙げるのは、町として大切にしていきたい点です。

- ・「授業内容がよくわかる」との回答が小学校(国算)で8割以上、中学校(国数)で7割以上、「勉強が好きだ」との回答が小学校で(国算)6割前後、中学校で(国数)5割以上ありました。「勉強が好きだ」「もっとわかりたい」という思いに十分応えていく授業の実現が学校に求められています。
- ・「学校のきまりを守る」との回答が小学校、中学校で9割をこえていて、府・全国平均と比べても上回っています。
- ・「宿題をする」との回答が小・中学校ともに9割以上で、「自分で計画を立てて勉強している」との回答が小学校、中学校で5割強にとどまっています。今後さらに自学自習の力を育成していくことが課題です。
- ・「読書が好きである」との回答が小学校で7割、中学校で6割を超えています。一方で、「平日全く読書をしていない」との回答が小学校で2割5分近く、中学校でも3割5分近くありました。読書習慣を定着していくための取組がさらに必要です。

3. 課題解決のために

- ・子どもたちの興味関心が高まる魅力ある授業に取り組みます。
- ・自学自習力育成のために、宿題の工夫や具体的なやり方など、学校と家庭が連携して子どもたちへアドバイスしていきます。
- ・授業規律をはじめ、学校生活における規範意識をさらに高めるよう努めます。

※日々の教育活動実施にあたり、今後とも保護者、地域の方々のご理解・ご協力をいただきながら取り組んでいきます。

担当課：河南町教育委員会事務局 教・育部 教育課学校教育係